

鼻笛初級講習 講師用リーフレット

鼻笛初級練習 標準パターン その1 (鼻笛練習開始)

使用音源 CD-1

最初はチューリップ ドレミ. ドレミで練習が一番なのですが、チューリップはJASRAC管理曲ですので、フリー曲のカエルの歌で開始します。

こちらもドレミファミレドって上がって行って下がってくる音階なので、最初の練習としてはなかなか良いです。

1 : カエルの歌

track14 ニ長調 模範演奏と一緒に吹きます。
ある程度出来るまで繰り返し

ここで言うある程度というのは数人で演奏したときに誰かが正しい音を出すことによって全体としてはちゃんと曲になるという程度です。
音程が少々狂っていても気にしなくて良いです。

1名の場合は低い音も高い音も全部出て一応曲として聴ける状況になるまで。

track245 ホ長調 **track14** の音程を1音上げたものです。
同じようにある程度出来るようになるまでやってみましょう。

Trach16 ト長調 さらに **track15** の音程を1音半上げたものです。
同じようにある程度出来るようになるまでやってみましょう。

これを何度か繰り返します。

皆さんがだいたい全部の音出るようになったら次に進みます。

track1.2.3 は上記 track14.15.16 のカラオケ版(模範演奏無し、伴奏のみ)が入っています。慣れてきたらこっちを使ってみてください。
先生が模範演奏をするときはこっちを使ってください。

- 2 : キラキラ星 今度はちょっと音が飛びます。
また、同じ音を 2 拍続けて吹く形になります。
だらしなくならないよう気をつけて吹いて下さい。

Track17 ホ長調
カエルの歌と同じように吹けるようになるまで練習しましょう。

Track18 ニ長調 track17 から音程を 1 音半下げています。
同じようにある程度出来るようになるまでやってみましょう。

Track19 ハ長調 track18 から音程を 1 音下げています。
ちょっと下の方がきついかも知れませんが同じようにやってみてください。

track4.5.6 は上記 track17.18.19 のカラオケ版(模範演奏無し、伴奏のみ)が入っています。慣れてきたらこっちを使ってみてください。
先生が模範演奏をするときはこっちを使ってください。

- 3 : ちょうちょ 今度はソミミファレレって最初高い音から入って音程が下がってくるという進行です。

この辺でちょっと演奏上の注意です。
鼻笛を吹くときは出来るだけ歌詞を思い浮かべてやりましょう

最初の方「菜の葉に飽いたら」の部分はソミミミファレレレという音階ですが、
後ろの方「止まれや遊べ」の部分(メロディは同じ)はソミミミファレレ~という風に最後のレが 2 つあるのではなく伸びます。
CD の模範演奏をよく聴いてみてください。
ほとんどの方が最後の方もソミミミファレレレと演奏しちゃってます。
鼻笛演奏としてはダメというほどのものではないのですが、
少し上達してきたら、この辺も注意してみましょう。

Track20 ニ長調 模範演奏と一緒に吹きます。
ある程度出来るまで繰り返し。

Track21 ホ長調 track20 の音程を 1 音上げたものです。
同じようにある程度出来るようになるまでやってみましょう。

Track22 ヘ長調 さらに track21 の音程を半音上げたものです。
同じようにある程度出来るようになるまでやってみましょう。

Track23 ト長調 さらに track22 の音程を 1 音上げたものです。
同じようにある程度出来るようになるまでやってみましょう。

高い音から始まる練習です。
ちょっときついかも知れませんが正しい音程で
吹き始められるようになれば完成です。

track7.8.9.10 は上記 track20.21.22.23 のカラオケ版
(模範演奏無し、伴奏のみ)が入っています。
慣れてきたらこっちを使ってください。
先生が模範演奏をするときはこっちを使ってください。

4 : カッコウ スタッカートの実習です。カッコウの吹き方がだら～と
ならないように演奏してみてください。

もう 1 点、最初のカッコウはカッコ～と吹きますが、
最後のカ～ッコ、カ～ッコ鳴いてるの部分は
音の切り方が変わります。
模範演奏をよく聴いてみてください。
音域もちょっと高めにしています。

Track24 ト長調 模範演奏と一緒に吹きます。
ある程度出来るまで繰り返し

Track25 イ長調 track24 の音程を 1 音上げたものです。
同じようにある程度出来るようになるまでやってみましょう。

Track26 ハ長調 track25 から音程を 1 音半上げています。
ちょっと出だしがきついかも知れませんが同じように
やってみてください。

track11.12.13 は上記 track24.25.26 のカラオケ版
(模範演奏無し、伴奏のみ)が入っています。
慣れてきたらこっちを使ってみてください。
先生が模範演奏をするときはこっちを使ってください。

CD-1 に収録はここまでです。

慣れてきたら音程が出来るだけずれないように。きれいな音が出るように、
皆さんの指導をしてみてください。

でも一番大切なのは楽しくやることです。
鼻笛合奏の喜びを皆さんに伝えてください。
たとえその音が上手く出なくても誰かがその音を出してくれていたら合奏は成り立ちます。
みんなで吹けば怖くない。(^_^)V

最初はどうしても口から息が出てしまってビービーと変な音の出る方も
いらっしやいますが、めげずに練習を続けてみてください。
やっていると自分なりにコツがつかめて上手く良い音が出るようになります。

自分の得意な音を頑張って出しましょう。
一緒に練習しているといつか出なかった音も
自然に出でてくるようになります。

焦る必要はありません。
のんびり楽しく練習していきましょう。

鼻笛初級練習 標準パターン その2 (音域拡大)

使用音源 CD-2

すでに著作権が切れている曲で誰でも知っている曲「ふるさと」
この曲を使って音域拡大をしたいと思います。

鼻笛の場合、歌を知っているって事が上手く吹くためには
重要なポイントとなります。

メロディーを知っていれば鼻歌感覚で演奏できます。
楽譜なんていりません。知っている曲を楽しく吹くのです。

最初のうちは大体メロディーが吹けていればそれで **OK** とします。

まずはトラック 3 から開始して順次上げていきます。
最初のうちは皆さんが苦しくならない程度のところまでとします。

少しずつ慣れてきたら **track2.1** と下がる方もやってみてください。
一番下の音がちゃんと出るようになれば **OK** です。

もっと慣れてきて 14 が楽に出るようになったら、
14 の後 3 番を流してオクターブ上で吹いてみてください。
そのまま順次、あがれるところまであがってみてください。

皆さんが、楽に吹けるようになったら **track15** 以降の伴奏無しの音源で
吹いてみてください。

あちこちの高さに飛んでみるのも練習としては良いです。

収録曲 ふるさと

模範演奏付

- track1 D : ニ長調 (模範演奏付)
- track2 E \flat : 変ホ長調 (模範演奏付)
- track3 E : ホ長調 (模範演奏付)
- track4 F : ヘ長調 (模範演奏付)
- track5 F \sharp : 嬰ヘ長調 (模範演奏付)
- track6 G : ト長調 (模範演奏付)
- track7 A \flat : 変イ長調 (模範演奏付)
- track8 A : イ長調 (模範演奏付)
- track9 B \flat : 変ロ長調 (模範演奏付)
- track10 B : ロ長調 (模範演奏付)
- track11 C : ハ長調 (模範演奏付)
- track12 C \sharp : 嬰ハ長調 (模範演奏付)
- track13 D : ニ長調 (模範演奏付)
- track14 E \flat : 変ホ長調 (模範演奏付)

伴奏のみ

- track15 D : ニ長調 (カラオケ版)
- track16 E \flat : 変ホ長調 (カラオケ版)
- track17 E : ホ長調 (カラオケ版)
- track18 F : ヘ長調 (カラオケ版)
- track19 F \sharp : 嬰ヘ長調 (カラオケ版)
- track20 G : ト長調 (カラオケ版)
- track21 A \flat : 変イ長調 (カラオケ版)
- track22 A : イ長調 (カラオケ版)
- track23 B \flat : 変ロ長調 (カラオケ版)
- track24 B : ロ長調 (カラオケ版)
- track25 C : ハ長調 (カラオケ版)
- track26 C \sharp : 嬰ハ長調 (カラオケ版)
- track27 D : ニ長調 (カラオケ版)
- track28 E \flat : 変ホ長調 (カラオケ版)

少し上手になってきたら歌詞をイメージするよう指導してください。
言葉の切れ目で息継ぎをするよう指導します。

例えば、1番の最後の方に” 夢は今も巡りて” って言う歌詞がありますが、
鼻笛初心者の方はほとんど” ゆ～めは”” い～まも”
” め～ぐ”” うり～て” てな感じでブレスが入ります。

上記の内で” 巡りて” の部分、言葉の途中でブレスをするのは
曲の表現的に良くありません。

最初は仕方ないのですが、ある程度音が出るようになったら
” 巡りて” は一息で吹くよう指導してみてください。

この辺りは柔らかく注意してみてください。

上手になってきたら少しずつ注意していきましょう。

本項の目的は音域拡大が第一ですので、その他の項目は参考程度です。

何度も繰り返しているとだんだん出なかった音も出るようになってきます。

CD-1 のジャケットにミスプリントがあります。
カラオケ版と模範演奏付の表示が逆になっています。
正しくはこちらとなりますので、読替をお願いいたします。

track1	カエルの歌	D	ニ長調	(カラオケ版)
track2	カエルの歌	E	ホ長調	(カラオケ版)
track3	カエルの歌	G	ト長調	(カラオケ版)
track4	キラキラ星	E	ホ長調	(カラオケ版)
track5	キラキラ星	D	ニ長調	(カラオケ版)
track6	キラキラ星	C	ハ長調	(カラオケ版)
track7	ちょうちょ	D	ニ長調	(カラオケ版)
track8	ちょうちょ	E	ホ長調	(カラオケ版)
track9	ちょうちょ	F	ヘ長調	(カラオケ版)
track10	ちょうちょ	G	ト長調	(カラオケ版)
track11	カッコウ	G	ト長調	(カラオケ版)
track12	カッコウ	A	イ長調	(カラオケ版)
track13	カッコウ	C	ハ長調	(カラオケ版)

track14	カエルの歌	D	ニ長調	(模範演奏付)
track15	カエルの歌	E	ホ長調	(模範演奏付)
track16	カエルの歌	G	ト長調	(模範演奏付)
track17	キラキラ星	E	ホ長調	(模範演奏付)
track18	キラキラ星	D	ニ長調	(模範演奏付)
track19	キラキラ星	C	ハ長調	(模範演奏付)
track20	ちょうちょ	D	ニ長調	(模範演奏付)
track21	ちょうちょ	E	ホ長調	(模範演奏付)
track22	ちょうちょ	F	ヘ長調	(模範演奏付)
track23	ちょうちょ	G	ト長調	(模範演奏付)
track24	カッコウ	G	ト長調	(模範演奏付)
track25	カッコウ	A	イ長調	(模範演奏付)
track26	カッコウ	C	ハ長調	(模範演奏付)